

単元見通し学習で学ぶ俳句の授業

—小学生から大学生まで楽しく学べる授業づくり—

水谷 茂（犬山市立羽黒小学校）

キーワード：単元見通し学習、豊かな同時学習（学習目標と態度目標の同時達成）、仲間と学び合う仕掛け

単元見通し学習による協同の学びをどのように進めるか、基本的な考え方の解説と併せて、俳句を題材にした事例を体験していただきます。俳句は17音の中に感動を盛り込む表現形態であり、俳句の約束事もあって難しそうに思えますが、仲間と学び合って俳句づくりをしたら、俳句を身近に感じられるようになると思いませんか？「俳句はおもしろそうだ」「自分にも俳句がつくれそうだ」と思えるような指導過程を考えました。

1 授業の組み立て

この俳句の学習は、単元見通し学習（杉江2004、杉江・水谷2011）の方式を取り入れて指導過程を組んであります。授業の組み立ては次のとおりです。

(1) 協同学習の意義と内容の確認、特に、目指す学力の確認

- ① 自主的・自律的な学習態度を育てる。
教師が教えるのではなく学習者が学ぶ授業
- ② 積極性・コミュニケーション能力・相手に対する感受性を育てる。
様々な交流活動のある授業
- ③ 協調性・高い学習意欲をもたせる。
一人一人に力を付けて、学習者が互いに学び合い高め合う授業
- ④ 学習者全員が学力を伸ばす。

(2) 単元見通し学習の解説（ポイントと手立て）

（ポイント）

- ① 学び合いの質を吟味することを通して豊かな同時学習を図る。
- ② 目標と目標達成のためのステップを明確に伝え、学習者同士が共通理解できるようにする。
- ③ 様々な交流活動を取り入れ、「自分にもできそうだ」と見当づけさせる。
- ④ 俳句の学習を通して育てたい態度（俳句に親しみを感じ将来にわたり関心をもてる）を明示する。

（手立て）

- ① 学習のゴールを明確に伝える→みんなの力で全員が俳句を創る。
- ② 第1時に単元で学習する内容を概観する→学習の見通しをもてるようにする。
- ③ 授業のはじめに、本時の課題と手順を示す→見通しをもって学習を進めることができるようにする。
- ④ 学習課題は仲間と協力して達成できるものにする→豊かな同時学習ができるようにする。
- ⑤ 毎時間、振り返りカードで活動の振り返りをする→自分の学びを評価し改善する。

(3) 活動1から活動4までのワークショップに取り組む

俳句の学び4時間の設計を知らせ、6年生の児童が、4時間で俳句を創作できるようにするための授業の組み立てはどのようなものか概要を説明します。その後、4つの活動に順次取り組みます。各活動の初めに目標と活動の流れを知らせて、参加者が見通しをもって取り組めるようにします。活動4の後で、ワークショップ全体の振り返りを行います。

2 このワークショップに取り組んだ参加者の声

小学生を対象にした俳句の授業ですが、私が各地で行っているワークショップでは、大学生や社会人（大半が教師）にも好評をいただいています。一例として、昨年の11月に中京大学で行ったときの学生の振り返りを紹介します（対象101名）。

- ① 俳句の授業に楽しく参加できましたか。
そう思う（95名） まあまあそう思う（6名）
- ② 「俳句」に興味をもてるようになりましたか。
そう思う（57名） まあまあそう思う（43名） あまりそう思わない（1名）
- ③ 俳句を創るのに、仲間の力は役立ちましたか。
そう思う（95名） まあまあそう思う（6名）
- ④ 自由記述（参加者全員が記述しました。その中の一人の記述を紹介します）
最初、俳句を作れるのかとても不安でしたが、楽しく作ることができました。何より仲間の力は、とても役立ったと思いました。自分だけの考えだけでは、考えられなかったけど、仲間の考えを見て、気付くことがたくさんありました。俳句に対して興味が少し変わったと思います。とても楽しかったです。

文 献

杉江修治 バズ単元見通し学習の理論と実践事例（協同学習叢書8）一粒社 2004
杉江修治・水谷茂（監） 単元見通し学習への挑戦 一粒書房 2011
水谷茂 互いに支え合う中で、成長を実感できる授業づくり 中京大学教師教育論叢, 4, 113-127, 2015